

次期北海道医療計画見直しスケジュールについて

資料4-6

時期	総医協（総会・地域医療専門委員会等）	道本庁		
令和5年3月	31日【国】第8次医療計画の「医療計画作成指針」及び「疾病・事業及び在宅医療に係る医療提供体制構築に係る取組」完成		R5.5.18 地域医療専門委員会決定	
4月	18日 第1回 地域医療専門委員会 ・二次医療圏設定の方向性を整理	道の基本方針の策定・部内検討チーム設置 計画評価作成依頼		
5月	18日 第2回 地域医療専門委員会 ・策定スケジュール			
6月		医療計画保健所向け説明会①	骨子の作成	
7月	第3回 地域医療専門委員会 第1回 総会		疾病・事業別協議 素案たたき台の作成	
8月	第4回 地域医療専門委員会 ・計画の骨子、現行計画の進捗・評価		疾病・事業別協議 基準病床数算定	協議の場（基本的考え方／介護／市町村）
9月	第5回 地域医療専門委員会 ・計画素案（たたき台）	第3回定例会 前日委員会 ・現行計画の推進状況と骨子 医療計画保健所向け説明会②	素案(案)の作成	協議の場（基本的考え方／医療／圏域連携推進会議）
10月	第6回 地域医療専門委員会 ・計画素案 ・基準病床数		疾病・事業別協議	
11月中旬 下旬		医療審議会（素案報告） 第4回定例会 前日委員会（素案報告） 医療計画保健所向け説明会③、④		
12月～ 令和6年1月		パブリックコメント 保険者協議会 意見照会	計画案作成	協議の場(素案) 地域推進方針策定
2月上旬	第7回 地域医療専門委員会 第2回 総会 ・計画案			二次医療圏 ごとに R6.9月末 までに策定
2月下旬		第1回定例会前日委員会（計画案報告）		
3月		医療審議会（諮問・答申）⇒告示・公表・国へ報告		

次期北海道医療計画見直しスケジュールについて

資料 4 - 7

時期	総医協（総会・地域医療専門委員会）	救急医療専門委員会
令和5年3月	31日【国】第8次医療計画の「医療計画作成指針」及び「疾病・事業及び在宅医療に係る医療提供体制構築に係る指針」発出	
4月	18日 第1回 地域医療専門委員会 ・二次医療圏設定の方向性を整理	
5月	18日 第2回 地域医療専門委員会 ・策定スケジュール	第1回 北海道DMAT等検討WG
6月		
7月	第3回 地域医療専門委員会 第1回 総会	第1回 救急医療専門委員会（7/25） ・現行計画の進捗・評価 ・次期計画策定スケジュール
8月	第4回 地域医療専門委員会 ・計画の骨子、現行計画の進捗・評価	第2回 救急医療専門委員会 ・骨子の作成
9月	第5回 地域医療専門委員会 ・計画素案（たたき台）	第3回 救急医療専門委員会 ・計画素案（たたき台）
10月	第6回 地域医療専門委員会 ・計画素案 ・基準病床数	第4回 救急医療専門委員会 ・計画素案
11月中旬 下旬		
12月～ 令和6年1月		パブリックコメント 第5回 救急医療専門委員会 ・計画案
2月上旬	第7回 地域医療専門委員会 第2回 総会 ・計画案	第4回 北海道DMAT等検討WG ・計画案
2月下旬		
3月		医療審議会（諮問・答申）⇒告示・公表・国へ報告

北海道患者搬送固定翼機運航事業 Medical Wings™ メディカルウイング

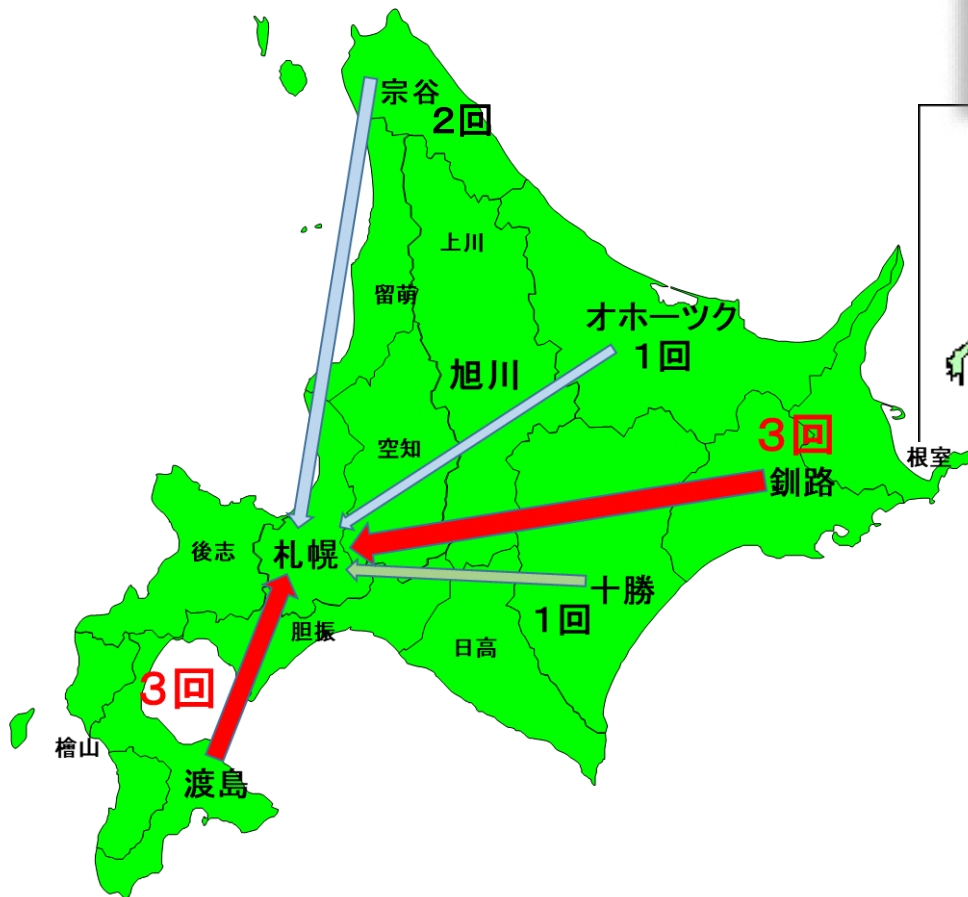


令和5年度第1回救急医療専門委員会

令和4年度患者搬送実績

令和4年4月1日～令和5年3月31日

搬送件数: 12件



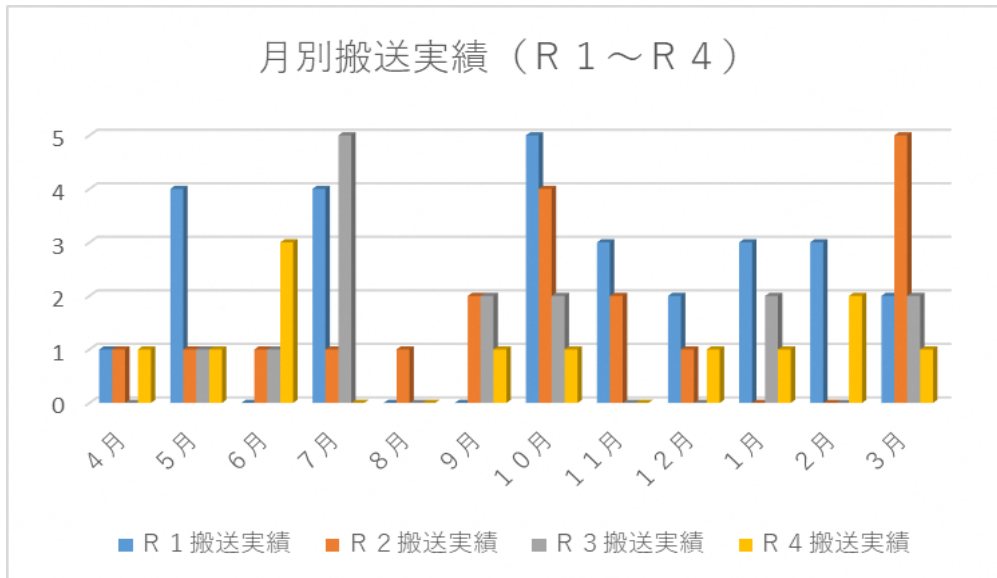
道内搬送	10件
札幌市	10件
道外搬送	2件
大阪府	1件
宮城県	1件

令和4年度患者搬送実績

令和4年4月1日～令和5年3月31日

年齢区分	R4	参考 R3
出生 ～ 1ヶ月未満	2名	4名
1ヶ月以上 ～ 7歳未満	2名	2名
7歳以上 ～ 15歳未満	3名	1名
15歳以上 ～ 65歳未満	3名	5名
65歳以上	2名	3名

疾患区分	R4	参考 R3
小児先天性疾患	4名	8名
心血管系疾患	5名	2名
脳神経系疾患	0名	0名
血液系疾患	2名	1名
消化器系疾患	0名	1名
呼吸器系疾患	0名	1名
周産期系疾患	0名	0名
外傷系疾患	1名	2名
その他	0名	0名



搬送事案一覧(2022年度)

No.	患者概要			搬送元 医療機関 所在振興局	搬送先医療機関		搬送元医療機関から 搬送元空港まで 搬送手段	出 動 時間経過		搬送先空港から 搬送先医療機関まで 搬送手段	患者 搬送 時間	搬送元空港	搬送先空港	備 考
	年齢 区分	性 別	疾患群		都道府県	所 在 市町村		搬送元 空港 離陸 時間	搬送先 空港 着陸 時間					
1	15歳以上 ～65歳未満	女	心大血管系疾患	十勝	北海道	札幌市	救急車	12:33	13:10	救急車	2:02	帯広	丘珠	4月
2	出生1ヵ月 ～7歳未満	女	血液系疾患	釧路	北海道	札幌市	救急車	11:28	12:05	救急車	1:42	釧路	丘珠	5月
3	出生1ヵ月 ～7歳未満	女	小児先天性疾患	釧路	北海道	札幌市	救急車	11:05	11:45	救急車	2:17	釧路	丘珠	6月
4	7歳～ 15歳未満	女	小児先天性疾患	渡島	北海道	札幌市	救急車	12:40	13:15	救急車	1:53	函館	丘珠	6月
5	65歳以上	男	心大血管系疾患	宗谷	北海道	札幌市	救急車	13:10	13:55	救急車	1:35	利尻	丘珠	6月
6	65歳以上	女	心大血管系疾患	渡島	北海道	札幌市	救急車	11:15	11:55	救急車	1:42	函館	丘珠	9月
7	7歳～ 15歳未満	男	心大血管系疾患	石狩	大阪府	吹田市	救急車	11:55	13:55	救急車	3:33	丘珠	伊丹	10月
8	7歳～ 15歳未満	男	血液系疾患	渡島	北海道	札幌市	救急車	12:35	13:17	救急車	2:05	函館	新千歳	12月
9	出生1ヵ月 未満	男	小児先天性疾患	釧路	北海道	札幌市	救急車	11:06	11:56	救急車	2:38	釧路	新千歳	1月

搬送事案一覧(2022年度)

No.	患者概要			搬送元 医療機関 所在振興局	搬送先医療機関		搬送元医療機関から 搬送元空港まで 搬送手段	出 動 時間経過		搬送先空港から 搬送先医療機関まで 搬送手段	患者 搬送 時間	搬送元空港	搬送先空港	備 考
	年齢 区分	性 別	疾患群		都道府県	所 在 市町村		搬送元 空港 離陸 時間	搬送先 空港 着陸 時間					
10	15歳以上 ~65歳未満	男	外傷系疾患	宗谷	北海道	札幌市	救急車	14:25	15:30	救急車	2:33	稚内	新千歳	2月
11	出生1ヵ月 未満	女	小児先天性疾患	オホーツク	北海道	札幌市	救急車	12:15	13:10	救急車	3:16	女満別	新千歳	2月
12	15歳以上 ~65歳未満	女	心大血管系疾患	上川	宮城県	仙台市	救急車	11:35	12:55	救急車	2:53	旭川	仙台	3月

事業の検証について①

運航調整委員会について

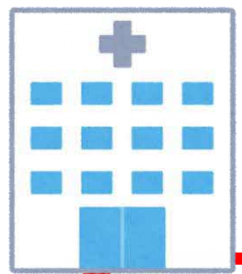
目的	専門的見地からその結果の分析・事後検証等を行い、より安全・効果的で円滑な運航や連携体制の在り方などを医療機関、消防機関等の関係者で検討・協議し、事業の円滑で効果的な推進を図る。	
メンバー	医療機関関係者(医育大学教授、救命救急センター長など)、消防機関関係者、国土交通省(空港事務所)、海上保安庁、航空自衛隊、海上自衛隊、市長会、町村会、北海道(事業担当課以外の消防担当、防災ヘリ担当部署を含む)	
開催回数	1回 ※2回の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の開催となった。	
R3	開催日	①令和4年7月29日(金) 書面開催
	概要	<ul style="list-style-type: none">・委員長、副委員長の選任・2021年度(令和3年度)運航実績報告書について・2022年度(令和4年度)運航実績(中間報告)について

事業の検証について②

事後検証部会について

目的	運航調整委員会において、より安全・効果的で円滑な運航や連携体制の在り方などを検討するため、専門的見地から運航結果の分析・事後検証等を行うことを目的とする。	
メンバー	北海道、搬送元医療機関代表、高度・専門医療機関代表、医師会、消防機関、統括医療機関、運航管理病院、HAMN,搬送担当運航会社	
開催回数	2回 ※3回の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2回の開催となった。	
R4	開催日	①令和4年9月15日(木) Zoom併用
	概要	令和3年度の未検証分の搬送(2件)及び不応需・キャンセル(2件)、令和4年度搬送(5件)について検証を行った。 ・搬送時案: 全て搬送基準を満たしており「妥当」とされた。 ・不応需・キャンセル事案: 判断は「妥当」とされた。
	開催日	②令和5年3月13日(月) Zoom併用
	概要	令和4年度の搬送(5件)及びキャンセル(7件)について検証を行った。 ・搬送事案: 搬送基準を満たしており「妥当」とされた。 ・キャンセル事案: 判断は「妥当」とされた。

地方の
医療機関



都市部の
高度専門医療機関



患者搬送固定翼機運航事業(平成29年度)
地域の医療機関では提供できない高度・専門医療を必要とする患者を、固定翼機を活用し、医師による継続した医学的管理の下、高度・専門医療機関へ搬送する事業

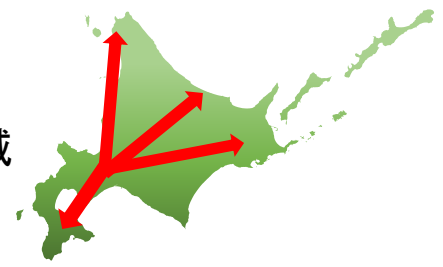


小児患者バックトランスファー固定翼機運航事業(令和5年度)

高度・専門医療機関で治療を受けた小児患者のうち、継続した医学的管理が必要であり、固定翼機以外での搬送が難しい小児患者を対象に、地域の医療機関へ固定翼機によるバックトランスファー(戻り搬送)を行う事業

効果

- ①高度・専門医療機関のNICU等の病床確保・医療従事者の負担軽減
- ②親子の分離期間短縮による患者及び家族の心理面等の負担軽減



ドクターヘリの運航状況等について

運航状況

区分	道 央	道 北	道 東	道 南
基地病院	手稲溪仁会病院	旭川赤十字病院	市立釧路総合病院	市立函館病院
運航会社	中日本航空(株)	朝日航洋(株)	中日本航空(株)	鹿児島国際航空(株)
運航開始年月	H17. 4	H21. 10 ※十勝圏H27. 11. 20から	H21. 10 ※十勝圏H27. 11. 20から	H27. 2
主な運航圏	道央圏 道北圏(富良野・留萌周辺)	道北圏 道央圏(北空知) オホーツク圏(遠紋) 十勝圏(北西部5町)	釧路・根室圏 オホーツク圏(北網) ※北網圏H24. 5から 十勝圏	道南圏
	31消防本部 79市町村	16消防本部 60市町村	10消防本部 37市町村	7消防本部 18市町村
R3年度運航実績	278(351)	297(329)	188(212)	396(466)
	1, 159(1, 358)			
R4年度運航実績 (速報値)	251(280)	294(321)	176(216)	351(442)
	1, 072(1, 259)			

※運航実績欄、()内は離陸後キャンセルを含む。

